

銘柄後決めレポ取引の清算業務に係る制度要綱

2014年11月26日
株式会社日本証券クリアリング機構

I. はじめに

- 日本証券業協会の「国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ」では、決済期間の短縮化（アウトライト・SCレポ：T+1、GCレポ：T+0）の実現に向けた検討を経て、GCレポ取引に関し、個別銘柄を特定せずバスケット（複数の銘柄の集合体）単位で約定し、スタート決済の直前に国債の渡方の在庫から個別銘柄の割当てを行う方式による取引（以下「銘柄後決めレポ取引」という。）の導入を含めた「国債取引の決済期間の短縮（T+1）化に向けたグランドデザイン」を取りまとめた。
- 本制度要綱案は、当社が行う国債店頭取引清算業務において銘柄後決めレポ取引を取り扱うとした場合に想定される制度概要を取りまとめたものである。
- 今後、同ワーキング・グループを始めとした市場参加者を交えた検討の場を通じて制度・実務の詳細、当社が提供する銘柄後決めレポ取引に係るサービスの利用、決済期間短縮化の実施時期に関して市場参加者その他の関係者間で合意が図られたところで、当社による銘柄後決めレポ取引の取扱いの経営判断を行うこととする。なお、本制度要綱案の内容のうち、株式会社証券保管振替機構及び証券コード協議会に関連する部分については、各機関の同意を得られることが前提となる。

II. 制度概要

項目	内容	備考
1. 清算対象取引		
(1) 対象商品	・ 銘柄後決めレポ取引の対象とする金融商品は、日本国債（物価連動国債及び個人向け国債を除く。）とする。	・ 現行の国債店頭取引清算業務と同様。
(2) 対象取引	・ 銘柄後決めレポ取引の対象とする取引は、現先取引のうち、次に掲げる要件を満たすものとする。 a 当社が別に定めるバスケットを指定した取引であること。	・ a・b・e・jを除き、現行の国債店頭取引清算業務と同様。

項目	内容	備考
<p>(3) バスケット</p> <p>2. 債務引受け</p> <p>(1) 債務引受けの申込み</p>	<p>b 債務引受けの申込みが約定日の午前7時から午後2時までに行われた場合は、スタート決済日が約定日であること。債務引受けの申込みが約定日の午後2時から約定日翌日（休業日にあたる場合は順次繰り下げる。以下同じ。）の午後2時までに行われた場合は、スタート決済日が約定日の翌日であること。</p> <p>c エンド決済日が約定日の1年後の応当日までに到来すること。</p> <p>d 約定時点でエンド決済日が確定していること。</p> <p>e スタート受渡金額が1,000万円の整数倍であること。</p> <p>f スタート受渡金額及びエンド受渡金額が1兆円未満であること。</p> <p>g 利含み現先取引であること。</p> <p>h リプライシングを行わない取引であること。</p> <p>i ヘアカットを適用しない取引であること。</p> <p>j 信託勘定を当事者とする取引の場合には、ファンドコードが特定されていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社は、銘柄後決めレポ取引において割当対象とする銘柄（以下「割当対象銘柄」という。）の範囲を特定するバスケットを設定する。 ・ バスケットの内容は定期的に見直しを行う。 ・ バスケットの銘柄コードは、I S I Nコード及び公社債銘柄コードとする。 ・ 当社は、バスケットに含まれる割当対象銘柄の異動情報を開示する。 <p>・ 当社の国債店頭取引清算業務における清算参加者（以下「清算参加者」という。）は、銘柄後決めレポ取引について、当社が定める方法により、当社に対して債務引受けの申込みを行うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスケットの設定及び見直しは、諮問委員会への諮問事項とする。 ・ 具体的な見直し頻度や手続は、別途検討する。 ・ コードの具体的な取扱いは、証券コード協議会と協議を行う。 ・ 想定されるバスケットのイメージは、別紙1参照。 ・ 新たな清算資格は設けない。 ・ 当社が定める方法は、株式会社証券保管振替機構の決済照合システムによる方法とする（現行の国債店頭取引清算業務と同様）。 ・ 債務引受けの申込みは、代理人を

項目	内容	備考																
(2) 債務引受け	<ul style="list-style-type: none"> • 清算参加者は、以下の事項を内容として債務引受けの申込み行う。 <ul style="list-style-type: none"> a 渡方清算参加者及び受方清算参加者の名称 b 渡方清算参加者及び受方清算参加者のネットィング口座 c 対象取引に係るファンドコード(信託口であるネットィング口座に係る取引の場合) d 約定日 e バスケット f スタート受渡金額及びエンド受渡金額 g スタート決済日及びエンド決済日 h 有価証券等清算取次ぎである場合はその旨 • 債務引受けの申込開始時刻、申込時限及び債務引受けの時期は以下のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="539 863 1529 1212" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">1回目</th> <th style="width: 20%;">2回目</th> <th style="width: 30%;">3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込開始時刻</td> <td>前日（休業日にあたる場合は順次繰り上げる。以下同じ。）午後2時</td> <td>当日午前7時</td> <td>当日午前11時</td> </tr> <tr> <td>申込時限</td> <td>前日午後9時</td> <td>当日午前11時</td> <td>当日午後2時</td> </tr> <tr> <td>債務引受けの時期</td> <td>当日午前7時</td> <td>当日午前11時</td> <td>当日午後2時</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> • 当社は、清算参加者から債務引受けの申込みが行われた場合、対象取引ごとに次に掲げる債務について債務引受けを行う。この場合において、次のa及びbを「スタート債務」といい、次のc及びdを「エンド債務」という。 <ul style="list-style-type: none"> a 受方清算参加者が渡方清算参加者に対して負担するスタート決済日におけるスタート受渡金額の支払債務 		1回目	2回目	3回目	申込開始時刻	前日（休業日にあたる場合は順次繰り上げる。以下同じ。）午後2時	当日午前7時	当日午前11時	申込時限	前日午後9時	当日午前11時	当日午後2時	債務引受けの時期	当日午前7時	当日午前11時	当日午後2時	<p>通じて行うことができる（現行の国債店頭取引清算業務と同様）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • c・eを除き、現行の国債店頭取引清算業務と同様（現行申込事項としている国債の個別銘柄及び数量は申込事項にはならない）。 • 債務引受けの時限等については、清算参加者のニーズや当社におけるシステム対応負荷等を踏まえて引き続き検討する。
		1回目	2回目	3回目														
申込開始時刻	前日（休業日にあたる場合は順次繰り上げる。以下同じ。）午後2時	当日午前7時	当日午前11時															
申込時限	前日午後9時	当日午前11時	当日午後2時															
債務引受けの時期	当日午前7時	当日午前11時	当日午後2時															

項目	内容	備考
<p>(3) Unwind 及び Rewind に係る債務負担</p> <p>3. バスケットネット</p>	<p>b 渡方清算参加者が受方清算参加者に対して負担するスタート決済日におけるスタート受渡金額に相当するものとして当社が後刻別に定める銘柄及び数量の国債（以下「割当国債」という。）の引渡債務</p> <p>c 渡方清算参加者が受方清算参加者に対して負担するエンド決済日におけるエンド受渡金額の支払債務</p> <p>d 受方清算参加者が渡方清算参加者に対して負担するエンド決済日における割当国債の引渡債務</p> <p>・ 上記(2)の債務引受けと同時に、当該債務引受けの対象取引に関し、次に定める債務が当社と清算参加者との間で成立するものとする。この場合において、次のa～dをUnwind債務といい、次のe～hをRewind債務という。</p> <p>a スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日（休業日を除く。以下同じ。）において渡方清算参加者が当社に対しスタート受渡金額相当額の金銭を支払う債務</p> <p>b スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において当社が受方清算参加者に対しスタート受渡金額相当額の金銭を支払う債務</p> <p>c スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において受方清算参加者が当社に対し割当国債を引き渡す債務</p> <p>d スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において当社が渡方清算参加者に割当国債を引き渡す債務</p> <p>e スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において受方清算参加者が当社に対しスタート受渡金額相当額の金銭を支払う債務</p> <p>f スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において当社が渡方清算参加者に対しスタート受渡金額相当額の金銭を支払う債務</p> <p>g スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において渡方清算参加者が当社に対し割当国債を引き渡す債務</p> <p>h スタート決済日の翌日からエンド決済日の前日までの各日において当社が受方清算参加者に対し割当国債を引き渡す債務</p> <p>・ 銘柄後決めレポ取引に係る債務引受け並びにUnwind及びRewindに係る債務</p>	<p>・ オーバーナイト取引については、Unwind及びRewindに係る債務負担は発生しない。</p> <p>・ Unwind及びRewindに係る債務負担における割当国債の引渡債務は、銘柄決定前のバスケットベースの債務となる。</p>

項目	内容	備考
<p>ング</p> <p>4. 割当対象銘柄及び割当可能数量の取扱い</p> <p>5. 銘柄割当て</p> <p>(1) 銘柄割当てのための組合せ</p> <p>(2) 銘柄割当て</p>	<p>負担が行われる都度、次に掲げる債務ごとに、バスケット及び決済日（当該債務を履行すべき日をいう。）を同一とする債務（既に銘柄が決定された割当国債の引渡債務及びそれに対応する金銭支払債務を除く。）について、それぞれネットィングを行う。ネットィングにより、当社と清算参加者との次に掲げる債務は、それぞれ、ネットィング後の金額又は数量の一の残債務となる。この場合において、次の a のネットィング結果を「スタート/Rewind 債務」といい、次の b のネットィング結果を「エンド/Unwind 債務」という。</p> <p>a スタート債務及び Rewind 債務</p> <p>b エンド債務及び Unwind 債務</p> <ul style="list-style-type: none"> 清算参加者は、当社が定める方法により、ネットィング口座ごと（信託口であるネットィング口座についてはファンドごと）に、利用可能な割当対象銘柄及びその残高を記載した割当可能残高通知を当社に提出する。 当社は、清算参加者から提出された割当可能残高通知等の情報に基づき、ネットィング口座ごとに、割当対象銘柄及び割当可能数量を算定する。 当社は、バスケットネットィングが行われた場合、バスケットネットィング結果について、当社が定めるところにより、渡方清算参加者と受方清算参加者の組合せを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 銘柄後決めレポ取引における口座の取扱いは、別紙 2 参照。 当社が定める方法は、株式会社証券保管振替機構の決済照合システムによる方法とする。 国債の渡方とならない清算参加者は、割当可能残高通知の提出は不要とする。 割当可能残高通知は、代理人を通じて提出することができる。 割当可能残高通知の取扱いは、別紙 3 及び別紙 4 参照。 具体的な銘柄割当て方法及び銘柄割当てのイメージは、別紙 5 参照。

項目	内容	備考
a 1回目の銘柄割当てにおける取扱い	<ul style="list-style-type: none"> • 1回目の銘柄割当ては、次に掲げるバスケットポジション（銘柄が決定される前の割当国債に係る引渡債務及び債権をいう。以下同じ。）を対象に行う。 ① 1回目のバスケットネットティング結果に基づくスタート/Rewind 債務に対応するバスケットポジションのうち当日を決済日とするもの ② 1回目のバスケットネットティング結果に基づくエンド/Unwind 債務に対応するバスケットポジションのうち翌日を決済日とするもの • ①の銘柄割当ては、渡方清算参加者と受方清算参加者の組合せごとに、当社が定めるところにより、当該渡方清算参加者の1回目の銘柄割当てに係る割当対象銘柄及び割当可能数量の範囲において、割当国債を選択する方法により決定する。 • ②の銘柄割当ては、①で決定した銘柄と同一銘柄の同一数量を決定する。 • 1回目の銘柄割当てにおいて、①のバスケットポジションについて渡方清算参加者の割当国債に係る引渡債務に対して割当可能数量が不足する場合には、当該不足部分（①のバスケットポジションに対応する②のバスケットポジションを含む。）を2回目のバスケットネットティングの対象とする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 銘柄割当ては、当日を決済日とするスタート/Rewind 債務及び翌日を決済日とするエンド/Unwind 債務のみが対象となる。 • 1回目の銘柄割当てに係る割当対象銘柄及び割当可能数量は、当該渡方清算参加者の当日の受領予定銘柄・数量の範囲に限られる。
b 2回目の銘柄割当てにおける取扱い	<ul style="list-style-type: none"> • 2回目の銘柄割当ては、次に掲げるバスケットポジションを対象に行う。 ① 2回目のバスケットネットティング結果に基づくスタート/Rewind 債務に対応するバスケットポジションのうち当日を決済日とするもの ② 2回目のバスケットネットティング結果に基づくエンド/Unwind 債務に対応するバスケットポジションのうち翌日を決済日とするもの • ①の銘柄割当ては、渡方清算参加者と受方清算参加者の組合せごとに、当社が定めるところにより、当該渡方清算参加者の2回目の銘柄割当てに係る割当対象銘柄及び割当可能数量の範囲において、割当国債を選択する方法により決定する。 • ②の銘柄割当ては、①で決定した銘柄と同一銘柄の同一数量を決定する。 • 2回目の銘柄割当てにおいて、①のバスケットポジションについて渡方清算参加者の割当国債に係る引渡債務に対して割当可能数量が不足する場合には、当該不足部分（①のバスケットポジションに対応する②のバスケットポジションを含む。）を3回目のバスケットネットティングの対象とする。 	
c 3回目の銘柄割当てにおける取扱い	<ul style="list-style-type: none"> • 3回目の銘柄割当ては、次に掲げるバスケットポジションを対象に行う。 ① 3回目のバスケットネットティング結果に基づくスタート/Rewind 債務に対応 	

項目	内容	備考
<p>い</p> <p>(3) 銘柄割当結果等の通知</p> <p>6. 決済</p> <p>(1) 決済数量及び決済金額</p> <p>(2) 国債DVP決済</p>	<p>するバスケットポジションのうち当日を決済日とするもの</p> <p>② 3回目のバスケットネットティング結果に基づくエンド/Unwind 債務に対応するバスケットポジションのうち翌日を決済日とするもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①の銘柄割当ては、渡方清算参加者と受方清算参加者の組合せごとに、当社が定めるところにより、当該渡方清算参加者の3回目の銘柄割当てに係る割当対象銘柄及び割当可能数量の範囲において、割当国債を選択する方法により決定する。 ・ ②の銘柄割当ては、①で決定した銘柄と同一銘柄の同一数量を決定する。 ・ 3回目の銘柄割当てにおいて、渡方清算参加者の割当国債に係る引渡債務に対して割当可能数量が不足する場合には、3回目の銘柄割当て時点の当該渡方清算参加者の割当可能残高通知に含まれる銘柄の中で最も残高が多い銘柄により、割当可能数量の範囲外の銘柄割当てを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社は、当社が定める方法により、銘柄割当ての結果等を清算参加者に通知する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 銘柄後決めレポ取引に係る国債の決済は、決済時限を同一とするものについて銘柄ごとに差引計算した数量を授受する方法により行う。 ・ 銘柄後決めレポ取引に係る金銭の決済は、国債の時価評価額（日本証券業協会が発表する売買参考統計値による国債の評価額をいう。）の金銭の授受及び受渡調整金額（授受すべき金銭の額と国債の時価評価額の差額をいう。）の金銭の授受により行う ・ 銘柄後決めレポ取引に係る国債及び当該国債の時価評価額の授受は、日本銀行金融ネットワークシステムシステムを利用した国債資金同時受渡（以下「国債DVP決済」という。）により行う。 ・ 決済時限は以下のとおりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社が定める方法は、株式会社証券保管振替機構の決済照合システムによる方法及び当社の Web 端末による方法とする。 ・ 銘柄後決めレポ取引の決済は、現行の国債店頭取引清算業務（アウトライト・銘柄先決めレポ取引）とは別に処理する。

項目	内容				備考
<p>(3) フェイルの取扱い</p> <p>(4) FOS 決済</p> <p>7. 証拠金</p> <p>(1) 変動証拠金</p>		1 回目の銘柄割当て及びエンド/Unwind 分	2 回目の銘柄割当て	3 回目の銘柄割当て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の国債店頭取引清算業務の決済においては、渡方清算参加者と当社との決済に係る決済指図は渡方清算参加者が行うこととしている。 ・ 現行の国債店頭取引清算業務と同様。 ・ フェイルにより翌日以降に繰り延べられた決済の決済時限は、1 回目の銘柄割当て及びエンド/Unwind 分の決済と同じとする。 ・ 銘柄後決めレポ取引の決済においてフェイルの発生を低減させるための施策について引き続き検討する。 ・ 具体的な変動証拠金所要額の算出
	渡方清算参加者と当社との決済	午前 10 時 30 分	午後 1 時 30 分	午後 3 時 30 分	
	当社と受方清算参加者との決済	午前 11 時	午後 2 時	午後 4 時	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本銀行に対する国債 D V P 決済に係る決済指図は、渡方清算参加者と当社との決済及び当社と受方清算参加者との決済の双方について、当社が行う。 ・ 国債 D V P 決済については、各決済に係る国債の数量が 50 億円を超えないよう、小口化を行う。 ・ 銘柄後決めレポ取引に係る国債 D V P 決済において、渡方清算参加者と当社との決済が決済時限までに行われていない場合、当該決済及び当該決済に対応する当社と受方清算参加者との決済をフェイルとし、当該決済は翌日以降に繰り延べる。 ・ 受渡調整金額の金銭の授受は、日本銀行における当座勘定の振替により行う。 ・ 支払方清算参加者は、午後 3 時 30 分までに当社に金銭を支払い、受領方清算参加者は午後 4 時以降当社から金銭を受領する。 ・ 当社は、銘柄後決めレポ取引に係る未決済債務の価値の変動に応じた変動証拠金 				

項目	内容	備考
(2) 当初証拠金 8. 手数料 9. 実施時期	<p>を清算参加者との間で授受することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 銘柄後決めレポ取引に係る決済において決済不履行が発生した場合の損失に備えるため、当初証拠金所要額の算出方法について見直しを行う。 ・ 当社の国債店頭取引清算業務において銘柄後決めレポ取引を取り扱うために要する運営費用を清算参加者に適正に負担いただくため、手数料の見直しを行う。 ・ 当社、清算参加者及び関係機関におけるシステム対応やテストのスケジュール等を踏まえて決定する。 	<p>方法は、別紙6参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 銘柄後決めレポ取引の変動証拠金の決済は、変動証拠金を算出した日の翌日における現行の国債店頭取引清算業務のFOS決済に含める。 ・ 具体的な当初証拠金所要額の算出方法は、別途検討する。 ・ 具体的な手数料の見直しの内容は、別途検討する。

以上

銘柄後決めレポ取引におけるバスケット（イメージ）

- ・ 当社は、銘柄後決めレポ取引において割当対象銘柄の範囲を特定するバスケットを設定する。
- ・ 具体的なバスケット内容は、市場関係者との協議を経て決定するが、現時点では下表のようなイメージが想定される。

<基本的なバスケット（例）>

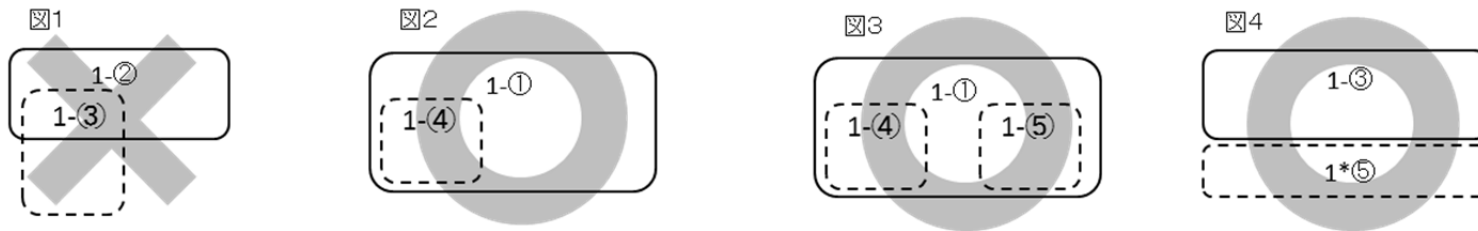
	名称（銘柄名）	銘柄コード (ISIN)	銘柄コード (公社債銘柄コード)	対象となる国債（構成銘柄）の範囲
1-①	国債バスケットA	JPXXX101XXXX	0101XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利付国債（変動利付国債を含み物価連動国債及び個人向け国債を除く） ・ 割引国債（国庫短期証券、分離元本振替国債、分離利息振替国債及び個人向け国債を除く） ・ 国庫短期証券
2-①	国債バスケットS	JPXXX201XXXX	0201XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分離元本振替国債 ・ 分離利息振替国債

<その他の想定されるバスケット（例）>

	名称（銘柄名）	銘柄コード (ISIN)	銘柄コード (公社債銘柄コード)	対象となる国債（構成銘柄）の範囲
1-②	国債バスケットA(U10)	JPXXX102XXXX	0102XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利付国債（変動利付国債を含み物価連動国債及び個人向け国債を除く）及び割引国債（国庫短期証券、分離元本振替国債、分離利息振替国債及び個人向け国債を除く）のうち残存10年未満のもの ・ 国庫短期証券
1-③	国債バスケットA(eF)	JPXXX103XXXX	0103XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利付国債（変動利付国債及び物価連動国債及び個人向け国債を除く） ・ 割引国債（国庫短期証券、分離元本振替国債、分離利息振替国債及び個人向け国債を除く） ・ 国庫短期証券

1-④	国債バスケットA (eF/U10)	JPXXX104XXXX	0104XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・利付国債（変動利付国債、物価連動国債及び個人向け国債を除く）及び割引国債（国庫短期証券、分離元本振替国債、分離利息振替国債及び個人向け国債を除く）のうち残存10年未満のもの ・国庫短期証券
1-⑤	国債バスケットF	JPXXX105XXXX	0105XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・変動利付国債

※ 構成銘柄の一部のみが重なり合うバスケット（下図1）は設けないこととし、構成銘柄が包含関係となる（図2及び図3）バスケット又は重なり合いがないバスケット（図4）のみを設定可能とする。



※ バスケットの内容は定期的に見直しを行う。

※ バスケットの名称及び銘柄コードは、今後、証券コード協議会と調整のうえ決定される予定（表中の記載は仮置きイメージ）。

銘柄後決めレポ取引における口座の取扱い

1. 決済口座

- ・ ネットィング口座ごとの決済口座は、現行の国債店頭取引清算業務における決済口座と同一とする。
 - － 決済口座は、ネットィング口座ごとに1口座となる（国債の渡方となる場合の決済口座と国債の受方となる場合の決済口座を別に指定することは可能）。
 - － 決済口座は、清算参加者自らの参加者口座のほか、他の国債振替決済制度参加者の参加者口座も指定可能（決済代行利用の場合）。

2. 割当可能残高通知の取扱い

- ・ 清算参加者は、ネットィング口座ごと（信託口であるネットィング口座についてはファンドごと）に利用可能な割当対象銘柄及びその残高を記載した割当可能残高通知を作成し、当社に通知する。
 - － 国債の渡方とならない場合には、割当可能残高通知の提出は不要とする。
 - － 割当可能残高通知は、代理人を通じて提出することができる。

以 上

1. 複数のネットィング口座を保有する清算参加者のネットィング口座イメージ

<事例：銀行である清算参加者が2つのネットィング口座を開設するケース>

マスタ情報		割当サイクルごとに作成・提出する 割当可能残高通知
ネットィング口座	日本銀行における決済口座	
●●銀行(投資勘定口)	●●銀行 通常決済口(00)	割当可能残高通知(投資勘定用)
●●銀行(商品勘定口)	●●銀行 通常決済口(00)	割当可能残高通知(商品勘定用)

<留意点等>

- ✓ 清算参加者は複数のネットィング口座を開設することが可能
- ✓ 割当可能残高通知はネットィング口座ごとに提出する。

2. 信託銀行のネットィング口座イメージ

<事例：信託銀行である清算参加者が複数のネットィング口座（自己口と信託口（複数））を開設するケース>

マスタ情報			ファンド	割当サイクルごとに作成・提出する 割当可能残高通知
ネットィング口座	日本銀行における決済口座			
	国債の渡し	国債の受け		
■■信託(自己口)	■■信託 通常決済口(00)		—	割当可能残高通知(自己口用)
■■信託(信託口1)	■■信託 信託口1(01)	■■信託 信託口1(01)	ファンド①	割当可能残高通知(ファンド①用)
			ファンド②	割当可能残高通知(ファンド②用)
■■信託(信託口2)	■■信託 信託口1(01)	■■信託 通常決済口(00)	ファンド③	割当可能残高通知(ファンド③用)
			ファンド④	割当可能残高通知(ファンド④用)
■■信託(信託口3)	■■信託 通常決済口(00)	■■信託 通常決済口(00)	ファンド⑤	割当可能残高通知(ファンド⑤用)

<留意点等>

- ✓ 清算参加者は複数のネットィング口座を開設することが可能
- ✓ 日本銀行における決済口座は、国債の渡方となる場合の決済口座と国債の受方となる場合の決済口座を別に指定することが可能
- ✓ 日本銀行における決済口座は、信託口1(01)以外の信託口も指定可能
- ✓ 信託口であるネットィング口座については、ファンドごとに割当可能残高通知を提出する。
- ✓ 信託口であるネットィング口座に係るバスケットネットィング、銘柄割当て、銘柄ネットィング及びDVP決済はファンドごとに行う。

3. 約定照合代行・決済代行委託者のネットイング口座イメージ

<事例：証券会社である清算参加者が決済代行を委託しているケース>

マスタ情報				割当サイクルごとに作成・提出する 割当可能残高通知
ネットイング口座	売買報告データの 提出者	日本銀行における決済口座	割当可能残高通知の提出者	
〇〇証券 *代行委託者	〇〇証券 *代行委託者	代行受託者の通常決済口(00)	〇〇証券 *代行委託者	割当可能残高通知

マスタ情報				割当サイクルごとに作成・提出する 割当可能残高通知
ネットイング口座	売買報告データの 提出者	日本銀行における決済口座	割当可能残高通知の提出者	
△△証券 *代行委託者	△△証券 *代行委託者	代行受託者の通常決済口(00)	代行受託者	割当可能残高通知(△△証券用)

<事例：証券会社である清算参加者が約定照合代行・決済代行を委託しているケース>

マスタ情報				割当サイクルごとに作成・提出する 割当可能残高通知
ネットイング口座	売買報告データの 提出者	日本銀行における 決済口座	割当可能残高通知の提出者	
□□証券 *代行委託者	代行受託者	代行受託者の通常決済口(00)	代行受託者	割当可能残高通知(□□証券用)

<留意点等>

- ✓ 日本銀行における決済口座は、清算参加者自らの参加者口座のほか、他の国債振替決済制度参加者の参加者口座も指定可能。
- ✓ 決済代行を委託している清算参加者は、割当可能残高通知の提出を他者に委任することが可能。
- ✓ 代行受託者は、自己分の割当可能残高通知及び各委託者の割当可能残高通知をそれぞれ作成・提出する。

4. 他社清算参加者のネットイング口座イメージ

<事例：証券会社である清算参加者が複数の清算委託者の清算取次ぎを行っているケース>

マスタ情報				割当サイクルごとに作成・提出する 割当可能残高通知
ネットイング口座	売買報告データの 提出者	日本銀行における決済口座	割当可能残高通知の提出者	
●●証券(自己口)	●●証券 *清算参加者	●●証券 通常決済口(00)	●●証券 *清算参加者	割当可能残高通知(自己口用)
●●証券(清算取次口01)	●●証券 *清算参加者	●●証券 通常決済口(00)	●●証券 *清算参加者	割当可能残高通知(清算取次口01用)
●●証券(清算取次口02)	●●証券 *清算参加者	●●証券 通常決済口(00)	●●証券 *清算参加者	割当可能残高通知(清算取次口02用)
●●証券(清算取次口03)	●●証券 *清算参加者	●●証券 通常決済口(00)	●●証券 *清算参加者	割当可能残高通知(清算取次口03用)

<留意点等>

- ✓ 他社清算参加者は複数の清算委託者の清算取次ぎを行うことが可能。
- ✓ 清算取次ぎを行う清算参加者は、清算委託者ごとにネットイング口座を開設する。
- ✓ 清算取次ぎを行う清算参加者は、ネットイング口座ごとに割当可能残高通知を作成・提出する。

銘柄後決めレポ取引に係る割当可能残高通知の取扱い

- ・ 当社は、各銘柄割当てにおいて、当社が定める時点（下表）において清算参加者から最も遅い時刻に受領した割当可能残高通知を利用する。
- ・ 清算参加者は、割当可能残高通知を何度でも提出することが可能。

銘柄割当て	当社が定める時点	留意点
1 回目	前日午後 9 時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 割当可能残高通知を作成する際に、割当日に銘柄後決めレポ取引に関して受領する国債の銘柄^{※1}のうち、割当日の銘柄後決めレポ取引に利用する残高を含めて記載する（割当日の前日に割当可能残高通知を提出するため、予定残としての記載になる。）。
2 回目	当日午前 11 時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清算参加者は、前回の銘柄割当ての結果を受領後、前回の銘柄割当てで割当てが行われた（使用された）銘柄を反映（減算）し、また前回の割当可能残高通知の提出後に予定残の変動を伴う約定等が発生した場合は必要に応じて当該変動を反映し、再度割当可能残高通知を提出する必要がある。 ・ 清算参加者は、当日受領予定証券の受けフェイルに伴う銘柄後決めレポ取引のフェイル発生を防止する観点から、日本銀行における実残（実際の決済進捗を考慮した残高）との突合など^{※2}により、割当可能残高通知に未受領残高が含まれないような工夫が求められる^{※3}。
3 回目	当日午後 2 時	同上 ^{※4}

※1 前日の銘柄割当てにより当日当社から受領する予定の銘柄（エンド/Unwind 債務に対応するバスケットポジションに係る割当国債）。

※2 当日受領予定の証券を割当可能残高通知に含めない運用とする場合や銘柄後決めレポ取引用の残高を他の目的の残高と区分管理したうえで割当可能残高通知を作成する運用とする場合など、日本銀行における実残との突合を要しないケースも想定される。

※3 午前 11 時の時点では、銘柄後決めレポ取引以外の取引の決済が相当程度進捗していることが想定される。また、午後 2 時の時点では、銘柄後決めレポ取引以外の取引の決済はほぼ完了していることが想定される。

※4 受けフェイルの確定等により残高不足が生じる見込みとなった場合には、同一バスケットの反対取引（資金運用取引）を行うことにより、割当てを要するネットポジションを縮小することが考えられる。また、状況に応じて、当日の未受領証券のうち受領の確実性が高いものや外部調達の確実性が高い銘柄を 3 回目の割当可能残高通知に含めておくことにより、フェイルの発生可能性を低減させる工夫も考えられる。

以 上

銘柄割当てにおける割当対象銘柄及び割当可能数量

- 当社は、清算参加者から提出された割当可能残高通知等の情報に基づき、国債の渡方となるネットイングロ座ごとに、銘柄割当てに利用する割当対象銘柄及び割当可能残高を算定する。
- 各銘柄割当てにおいて利用する割当対象銘柄及び割当可能数量の算定方法は、以下のとおりとする。

銘柄割当て	銘柄割当てに利用する割当対象銘柄	割当可能数量	留意点
1回目	<ul style="list-style-type: none"> • 割当可能残高通知に含まれ、かつ、割当日に銘柄後決めレポ取引に関して受領する予定^{※1}の銘柄 	<ul style="list-style-type: none"> • 銘柄割当てに利用する割当対象銘柄ごとに、以下の①又は②の数量のうちいずれか少ない数量 ① 割当可能残高通知に記載された残高 ② 割当日に銘柄後決めレポ取引に関して受領する予定の国債の数量 	<ul style="list-style-type: none"> • 渡方清算参加者は、割当可能残高通知を作成する際に、割当日に銘柄後決めレポ取引に関して受領する国債の銘柄のうち、割当日の銘柄割当てレポ取引に利用する残高を含めて記載する必要がある。
2回目 及び 3回目	<ul style="list-style-type: none"> • 割当可能残高通知記載の銘柄 	<ul style="list-style-type: none"> • 割当可能残高通知記載の残高 	

※ 前日の銘柄割当てにより当日当社から受領する予定の銘柄（エンド/Unwind 債務に対応するバスケットポジションに係る割当国債）。

以 上

銘柄後決めレポ取引に係る銘柄割当ルール

項目	内容	備考
1. 銘柄割当てのための組合せ処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタート/Rewind 債務に対応するバスケットポジションについて、当社に対する国債の渡方清算参加者及び当社に対する受方清算参加者の受渡金額が一致するように渡方清算参加者と受方清算参加者を組み合わせる処理を行う。 ・ 1回目の銘柄割当てにおいては、前日の銘柄割当てのための組合せの相手方と優先的に組合せを設定する。その際、渡方清算参加者と受方清算参加者のスタート/Rewind 債務に係る受渡金額が異なる場合には、受渡金額が大きい方のポジションを分割し、受渡金額が一致する組み合わせを設定する。当該方法による組合せを「優先組合せ」という。 ・ 1回目の銘柄割当てにおける優先組合せの設定後の残部分並びに2回目及び3回目の銘柄割当てにおける組合せは、銘柄渡方清算参加者及び受方清算参加者に対してそれぞれランダムな順位を設定し、当該順位の昇順で渡方清算参加者及び受方清算参加者を対応させ、受渡金額が一致しない場合は金額を大きい側の金額を分割することにより、受渡金額が一致する組み合わせを設定する。当該方法による組合せを「ランダム組合せ」という。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡方清算参加者と受方清算参加者の組合せ処理の例は別添1参照。
2. 銘柄割当数量の決定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1. の組合せごとに、割当国債の評価額がスタート/Rewind 債務に係る受渡金額以上かつ最も近くなるように割当数量を決定する。 ・ 具体的には、以下3. に定める銘柄間の順位及び割当対象ポジション間の順位に従って割当銘柄を決定していき、割当対象ポジションごとに割当国債の評価額がスタート/Rewind 債務に係る受渡金額以上となる数量を割当数量とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 割当国債の評価額は、売買参考統計値（当社が割当日までの経過利子を含む「利含み単価」を算出して利用する。）により算出する。
3. 1回目の銘柄割当てにおける銘柄割当順位 (1) 銘柄間の順位		

項目	内容	備考
a 優先組合せに係る銘柄割当て b ランダム組合せに係る銘柄割当て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前日の銘柄割当てにおけるエンド/Unwind 債務に対応するバスケットポジションに係る割当国債として受領予定の銘柄及び数量を、割当可能残高通知に記載された銘柄及び数量の範囲内で割り当てる。 ・ 当日受領する予定の国債の銘柄及び数量のうち、前 a の割当てで使用した残数量の範囲内で割り当てる。 ・ 割当対象ポジションのうち割り当てるべき数量が 50 億円以上の部分に対しては、割当可能残高通知上の残高の多い銘柄から、額面 50 億円ずつ割り当てる。ただし、全銘柄について残数量が 50 億円未満である場合は、割当可能残高通知上の残高の多い銘柄から、各銘柄の残数量を割り当てる。 ・ 割当対象ポジションのうち割り当てるべき数量が 50 億円未満の部分に対しては、割当可能残高通知上の残高の多い銘柄から、各銘柄の額面 50 億円未満の部分割り当てる。ただし、全銘柄について残数量に 50 億円未満の部分がない場合は、割当可能残高通知上の残高の多い銘柄から、額面 50 億円以上の部分を利用して割り当てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別添 2 参照
(2) ポジション間の順位 a ネットティング口座間の順位 b バスケット間の順位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のネットティング口座を有する場合のネットティング口座間の順位は、ネットティング口座番号の昇順とする（口座番号の若いものを優先する）。 ・ 共通の対象国債を含む複数のバスケットについては、対象範囲の小さいバスケットの銘柄割当てを行った後に対象範囲の大きいバスケットの銘柄割当てを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別添 3 参照
c ポジション間の順位 4. 2 回目及び 3 回目の銘柄割当てにおける銘柄割当順位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前 b までの優先順位が同一のポジションについては、受渡金額（銘柄割当てのための組合せ処理において国債の渡方のポジションの分割を行った場合は分割後の受渡金額）の降順とする（受渡金額の大きいものを優先する）。 	

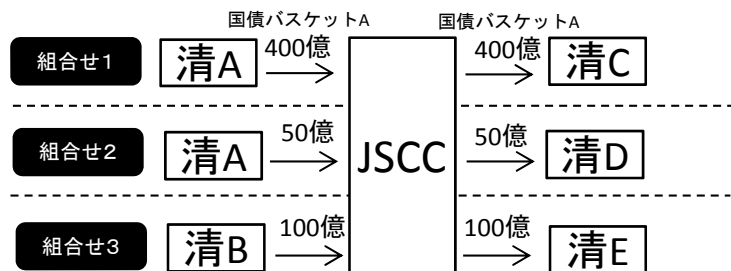
項目	内容	備考
(1) 銘柄間の順位	<ul style="list-style-type: none"> 3. (1) bと同様とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 2回目及び3回目の銘柄割当ての対象となるすべてのバスケットポジションについて、共通とする。
(2) 割当対象ポジション間の順位	<ul style="list-style-type: none"> 1回目の銘柄割当てにおける順位と同じとする。 	
5. 銘柄割当ての対象外とする銘柄	<ul style="list-style-type: none"> 銘柄割当を行う日の翌営業日が利払期日又は償還期日となる銘柄は、割当対象銘柄から除外する。 	<ul style="list-style-type: none"> 割当可能残高通知の受付時点で、エラー通知を返したうえで該当銘柄を除外する。

以上

銘柄割当てのための渡方と受方の組合せ処理イメージ

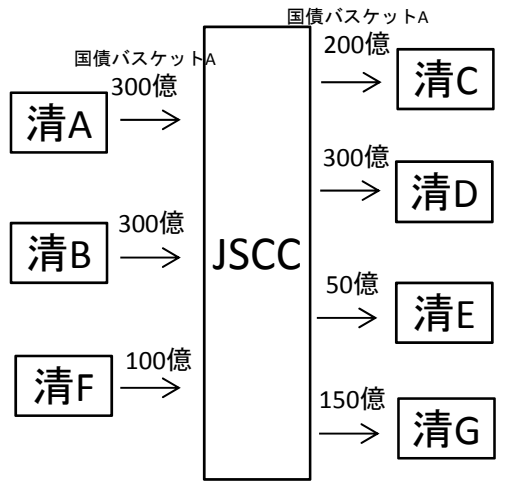
1. 優先組合せ処理イメージ(1回目の銘柄割当て)

【前日の銘柄割当てに係る組合せ】



①当日のバスケットネットティング結果

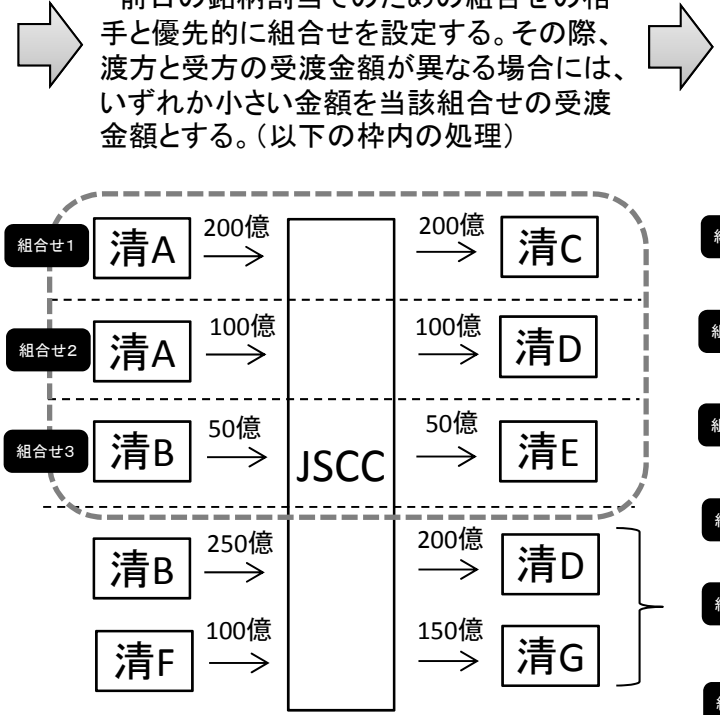
バスケットネットティングの結果、スタート/Rewind債務について清算参加者A、B、Fが国債(国債バスケットA)の渡方、清算参加者C～E、Gが受方となったと仮定。(受渡金額はそれぞれ以下のとおり。)



※清A～清G: 清算参加者
※資金の流れの記載は省略

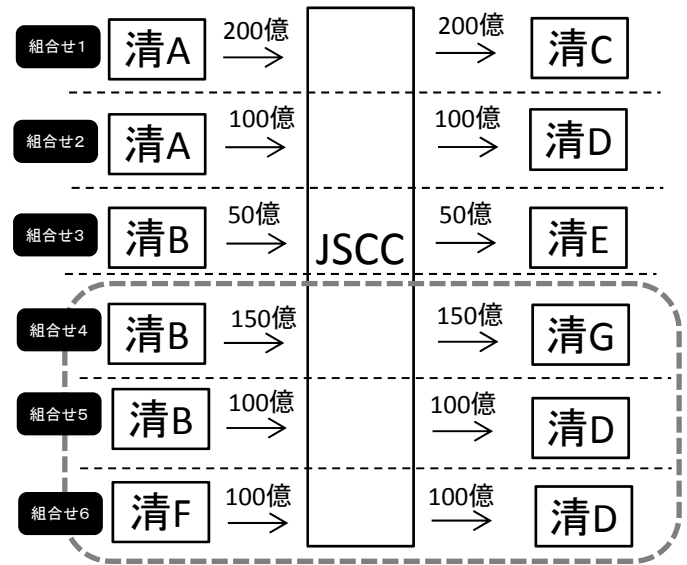
②前日の組合せを優先して組合せ処理

前日の銘柄割当てのための組合せの相手と優先的に組合せを設定する。その際、渡方と受方の受渡金額が異なる場合には、いずれか小さい金額を当該組合せの受渡金額とする。(以下の枠内の処理)



③②の残部分に係るランダム組合せ処理

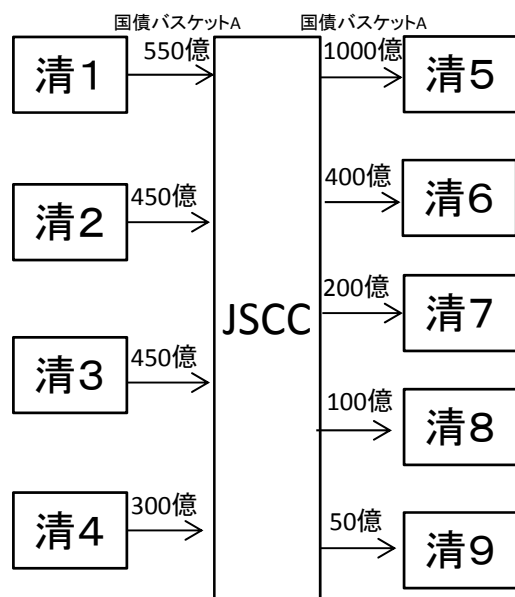
②の処理で組合せが未決定となる部分について「2. ランダム組合せ処理(次ページ参照)」に基づきランダムに組合せを決定する。(以下の枠内の処理)



2. ランダム組合せ処理イメージ

①バスケットネットティング結果

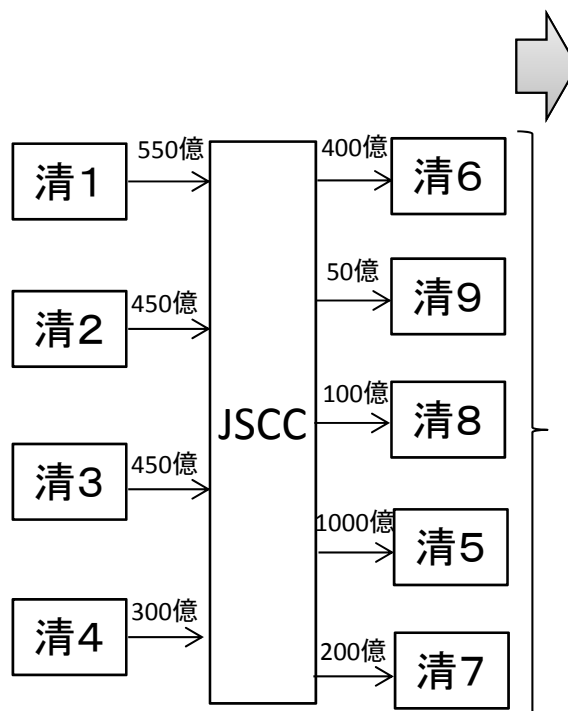
バスケットネットティングの結果、スタート/Rewind債務について清算参加者1～4が国債(国債バスケットA)の渡方、清算参加者5～9が受方となったと仮定。(受渡金額はそれぞれ以下のとおり。)



※清1～清9: 清算参加者
※資金の流れの記載は省略

②受方清算参加者をランダムに並替え

渡方清算参加者と受方清算参加者をランダムに並び替える。

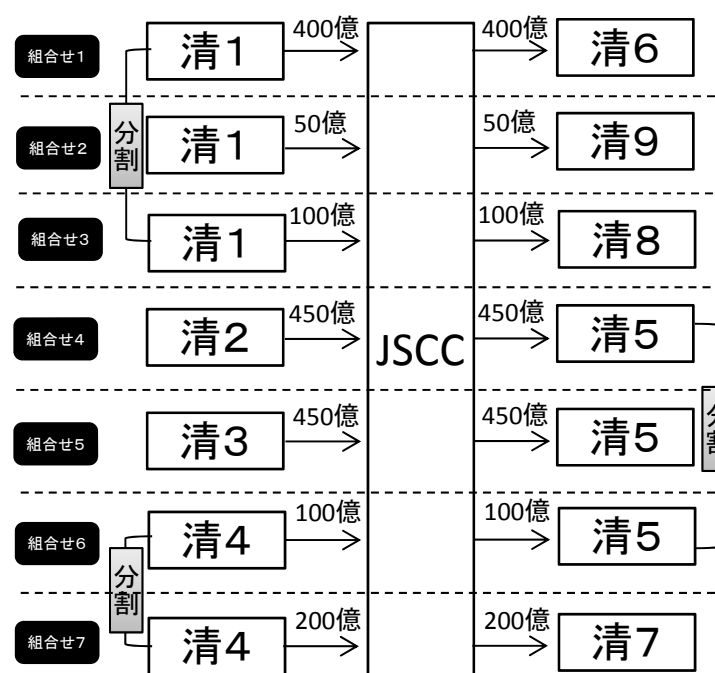


ランダムに並び替え

③銘柄割当てのための組合せを決定

受渡金額が一致するように渡方清算参加者と受方清算参加者を組み合わせる処理を行う。その際、必要に応じてポジションを分割する。

以下の例では、組合せ1～7が決定される。



銘柄割当てにおける銘柄間の順位イメージ

< 清算参加者 A の割当可能残高通知の内容 >

(単位：億円)

	銘柄①	銘柄②	銘柄③	銘柄④	銘柄⑤	銘柄⑥	銘柄⑦	銘柄⑧	合計
数量	1,030	340	300	210	150	30	10	10	2,080

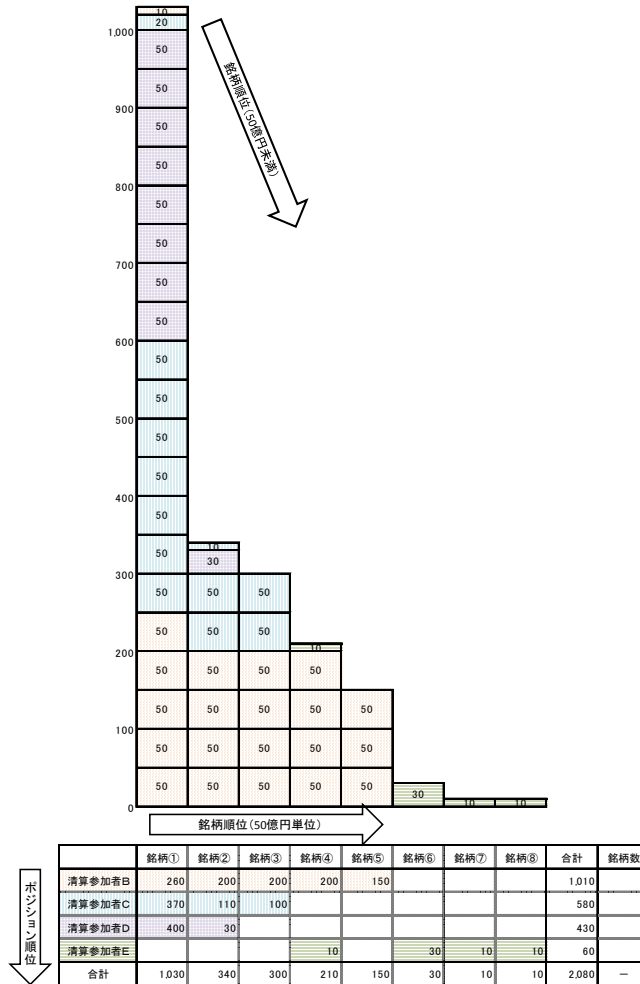
< 取引の内容 >

(単位：億円)

渡方	受方	約定金額
清算参加者 A	清算参加者 B	1,010
清算参加者 A	清算参加者 C	580
清算参加者 A	清算参加者 D	430
清算参加者 A	清算参加者 E	60
合 計		2,080




< 銘柄間の順位 >



※銘柄①～銘柄⑦の単価は 100 円と仮定

銘柄割当てにおける割当対象ポジション間の順位イメージ

●銘柄割当てにおいて清算参加者であるA銀行が以下のとおり国債の渡方となっている。

ネットイング口座	バスケット	受渡金額(億円)		銘柄割当てにおける割当対象ポジション間の順位		割当銘柄	
			銘柄割当てのための組合せ処理における分割後				
A銀行① (口座番号: 111111110012)	国債バスケットA(eF)	500	200		高	①	銘柄間の順位により割り当てる。
			150		②		
			100		③		
			50		④		
	国債バスケットA	150	100		⑤		
			50		⑥		
A銀行② (口座番号: 111111110020)	国債バスケットA(eF)	200	200	⑦			
	国債バスケットA	150	100	⑧			
			50	⑨			

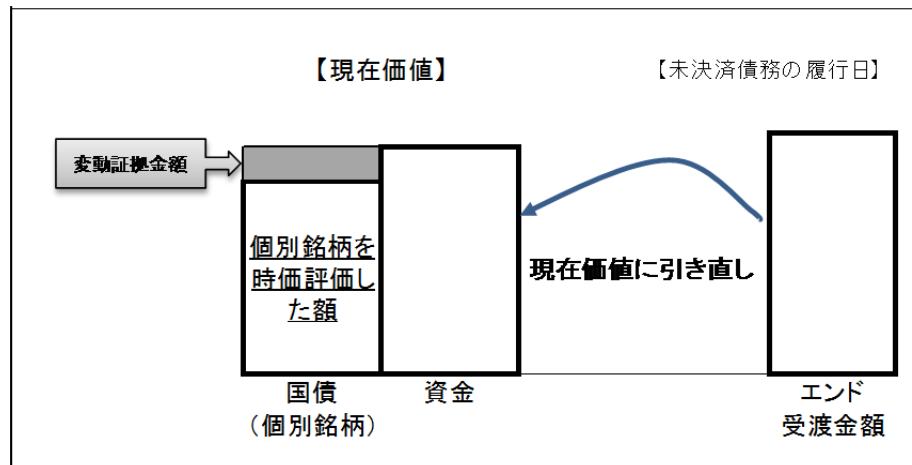
※「国債バスケットA (eF)」の銘柄が「国債バスケットA」の銘柄に包含される。

銘柄後決めレポ取引に係る変動証拠金の算出方法

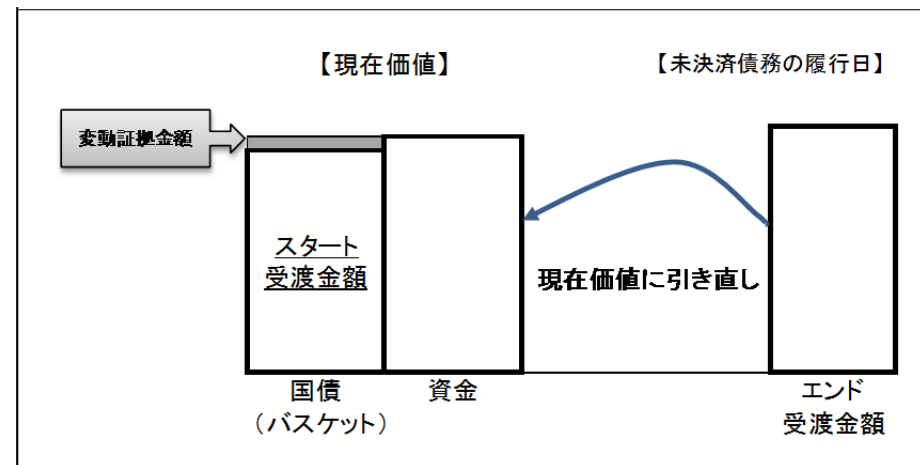
- ・ 計算日の翌々営業日以降の未決済債務について、国債に係る債務の時価評価額と、金銭に係る債務の計算日のレギュラー受渡日における現在価値の差額を日々授受することとする（現行のアウトライト及び銘柄先決め方式のレポ取引と同様）。
- ・ ただし、銘柄後決めレポ取引では、国債の未決済債務の現在価値については個別銘柄ではなくバスケットの現在価値となる。バスケットには、当日の時価に基づき日々スタート受渡金額相当の銘柄・数量を割り当てるため、現在価値は、国債の未決済債務に対応するスタート受渡金額となる。
- ・ したがって、銘柄後決めレポ取引に係る変動証拠金の額は、ネット後のエンド受渡金額の現在価値とスタート受渡金額の差額（レポ利息の現在価値に相当）となる。

【参考イメージ】

○銘柄先決め方式のレポ取引



○銘柄後決めレポ取引



以上

銘柄後決めレポ取引の概要

■ 現行のレポ取引（銘柄先決めレポ取引）が、約定時点で銘柄及び受渡金額を決めるのに対して、銘柄後決めレポ取引は、約定時点では資金の受渡金額及びバスケット（複数の銘柄の集合体）のみを決め、その後、第三者機関が、スタート決済の直前に国債の渡方の在庫から個別銘柄の割当てを行う取引手法

■ 銘柄先決めレポ取引と銘柄後決め取引の主な相違点

	銘柄先決めレポ取引	銘柄後決めレポ取引
約定時点の銘柄	個別銘柄	バスケット（個別銘柄は後刻決定）
受渡金額の決定方法	約定した個別銘柄の数量及び時価から算出	約定時点において当事者間で合意
銘柄割当ての主体	国債の渡方となる取引当事者	第三者機関（J S C C）
日本銀行への決済指図の送信主体	国債の渡方となる取引当事者	第三者機関（J S C C）

Unwind及びRewindに係る債務負担・バスケットネットティングイメージ

単位：億円
 資金 +：調達(受領)、-：運用(支払い)

日付	銘柄割当て	新規に売買報告データを受領した取引	債務引受け～銘柄割当て																																																																																														
6月1日	1回目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>バスケット</th> <th>スタート 決済日</th> <th>スタート 受渡金額</th> <th>エンド 決済日</th> <th>エンド 受渡金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引①</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月1日</td> <td>+100</td> <td>6月3日</td> <td>-100.9</td> </tr> <tr> <td>取引②</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月1日</td> <td>-20</td> <td>6月4日</td> <td>+20.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※6月1日より前にスタートした取引はすべて6月1日の前日までに エンド決済が完了している状況を想定</p>	バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額	取引①	国債バスケットA	6月1日	+100	6月3日	-100.9	取引②	国債バスケットA	6月1日	-20	6月4日	+20.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決済日</th> <th colspan="2">6月1日</th> <th colspan="2">6月2日</th> <th colspan="2">6月3日</th> <th colspan="2">6月4日</th> </tr> <tr> <th></th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> </tr> <tr> <th></th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引①</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+100</td> <td>受</td> <td>-100</td> <td>渡</td> <td>+100</td> <td>受</td> <td>-100.9</td> </tr> <tr> <td>取引②</td> <td></td> <td>受</td> <td>-20</td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20</td> <td>渡</td> <td>+20.2</td> </tr> <tr> <td>ネットティング結果(国債バスケットA)</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+80</td> <td>受</td> <td>-80</td> <td>渡</td> <td>+80</td> <td>受</td> <td>-80.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>申込みによる債務引受け・Unwind/Rewind債務負担 ↓ バスケットネットティング ↓ 銘柄割当て</p> <p>① 80億円相当の銘柄を割当て ② ①で割り当てた国債と同一銘柄・同一数量を割り当てる。</p> <p>①において割当可能残高が不足する場合には、①の不足部分及び対応する②のバスケットポジションを2回目の銘柄割当てに繰越し(5億円分不足したと仮定)</p>	決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日			エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind		国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	取引①		渡	+100	受	-100	渡	+100	受	-100.9	取引②		受	-20	渡	+20	受	-20	渡	+20.2	ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+80	受	-80	渡	+80	受	-80.9																				
		バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額																																																																																											
		取引①	国債バスケットA	6月1日	+100	6月3日	-100.9																																																																																										
取引②	国債バスケットA	6月1日	-20	6月4日	+20.2																																																																																												
決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日																																																																																										
	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind																																																																																									
	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																																																																									
取引①		渡	+100	受	-100	渡	+100	受	-100.9																																																																																								
取引②		受	-20	渡	+20	受	-20	渡	+20.2																																																																																								
ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+80	受	-80	渡	+80	受	-80.9																																																																																								
6月1日	2回目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>バスケット</th> <th>スタート 決済日</th> <th>スタート 受渡金額</th> <th>エンド 決済日</th> <th>エンド 受渡金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引③</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月1日</td> <td>+80</td> <td>6月3日</td> <td>-80.7</td> </tr> <tr> <td>取引④</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月1日</td> <td>+20</td> <td>6月3日</td> <td>-20.1</td> </tr> </tbody> </table>	バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額	取引③	国債バスケットA	6月1日	+80	6月3日	-80.7	取引④	国債バスケットA	6月1日	+20	6月3日	-20.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決済日</th> <th colspan="2">6月1日</th> <th colspan="2">6月2日</th> <th colspan="2">6月3日</th> <th colspan="2">6月4日</th> </tr> <tr> <th></th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> </tr> <tr> <th></th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目の取引に係るスタート/Rewind/エンド/Unwindバスケットポジション</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+5</td> <td>受</td> <td>-5</td> <td>渡</td> <td>+80</td> <td>受</td> <td>-80.9</td> </tr> <tr> <td>取引③</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+80</td> <td>受</td> <td>-80</td> <td>渡</td> <td>+80</td> <td>受</td> <td>-80.7</td> </tr> <tr> <td>取引④</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20</td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20.1</td> </tr> <tr> <td>ネットティング結果(国債バスケットA)</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+105</td> <td>受</td> <td>-105</td> <td>渡</td> <td>+180</td> <td>受</td> <td>-181.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>申込みによる債務引受け・Unwind/Rewind債務負担 ↓ バスケットネットティング ↓ 銘柄割当て</p> <p>1回目の銘柄割当てにおける、割当可能残高不足による繰越し分 ③ 105億円相当の銘柄を割当て ④ ③で割り当てた国債と同一銘柄・同一数量を割り当てる。</p> <p>③において割当可能残高が不足する場合には、③の不足部分及び対応する④のバスケットポジションを3回目の銘柄割当てに繰越し(10億円分不足したと仮定)</p>	決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日			エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind		国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	1回目の取引に係るスタート/Rewind/エンド/Unwindバスケットポジション		渡	+5	受	-5	渡	+80	受	-80.9	取引③		渡	+80	受	-80	渡	+80	受	-80.7	取引④		渡	+20	受	-20	渡	+20	受	-20.1	ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+105	受	-105	渡	+180	受	-181.7										
		バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額																																																																																											
		取引③	国債バスケットA	6月1日	+80	6月3日	-80.7																																																																																										
取引④	国債バスケットA	6月1日	+20	6月3日	-20.1																																																																																												
決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日																																																																																										
	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind																																																																																									
	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																																																																									
1回目の取引に係るスタート/Rewind/エンド/Unwindバスケットポジション		渡	+5	受	-5	渡	+80	受	-80.9																																																																																								
取引③		渡	+80	受	-80	渡	+80	受	-80.7																																																																																								
取引④		渡	+20	受	-20	渡	+20	受	-20.1																																																																																								
ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+105	受	-105	渡	+180	受	-181.7																																																																																								
6月1日	3回目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>バスケット</th> <th>スタート 決済日</th> <th>スタート 受渡金額</th> <th>エンド 決済日</th> <th>エンド 受渡金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引⑤</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月1日</td> <td>+10</td> <td>6月3日</td> <td>-10.1</td> </tr> <tr> <td>取引⑥</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月1日</td> <td>+50</td> <td>6月4日</td> <td>-50.5</td> </tr> </tbody> </table>	バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額	取引⑤	国債バスケットA	6月1日	+10	6月3日	-10.1	取引⑥	国債バスケットA	6月1日	+50	6月4日	-50.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決済日</th> <th colspan="2">6月1日</th> <th colspan="2">6月2日</th> <th colspan="2">6月3日</th> <th colspan="2">6月4日</th> </tr> <tr> <th></th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> </tr> <tr> <th></th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目・2回目の取引に係るスタート/Rewind/エンド/Unwindバスケットポジション</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+10</td> <td>受</td> <td>-10</td> <td>渡</td> <td>+180</td> <td>受</td> <td>-181.7</td> </tr> <tr> <td>取引⑤</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+10</td> <td>受</td> <td>-10</td> <td>渡</td> <td>+10</td> <td>受</td> <td>-10.1</td> </tr> <tr> <td>取引⑥</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+50</td> <td>受</td> <td>-50</td> <td>渡</td> <td>+50</td> <td>受</td> <td>-50.5</td> </tr> <tr> <td>ネットティング結果(国債バスケットA)</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+70</td> <td>受</td> <td>-70</td> <td>渡</td> <td>+240</td> <td>受</td> <td>-241.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>申込みによる債務引受け・Unwind/Rewind債務負担 ↓ バスケットネットティング ↓ 銘柄割当て</p> <p>2回目の銘柄割当てにおける、割当可能残高不足による繰越し分 ⑤ 70億円相当の銘柄を割当て ⑥ ⑤で割り当てた国債と同一銘柄・同一数量を割り当てる。</p> <p>⑤において割当可能残高が不足する場合には、一定のルールに従い、渡方清算参加者の残高の範囲外の銘柄を割り当てる。</p>	決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日			エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind		国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	1回目・2回目の取引に係るスタート/Rewind/エンド/Unwindバスケットポジション		渡	+10	受	-10	渡	+180	受	-181.7	取引⑤		渡	+10	受	-10	渡	+10	受	-10.1	取引⑥		渡	+50	受	-50	渡	+50	受	-50.5	ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+70	受	-70	渡	+240	受	-241.8										
		バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額																																																																																											
		取引⑤	国債バスケットA	6月1日	+10	6月3日	-10.1																																																																																										
取引⑥	国債バスケットA	6月1日	+50	6月4日	-50.5																																																																																												
決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日																																																																																										
	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind																																																																																									
	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																																																																									
1回目・2回目の取引に係るスタート/Rewind/エンド/Unwindバスケットポジション		渡	+10	受	-10	渡	+180	受	-181.7																																																																																								
取引⑤		渡	+10	受	-10	渡	+10	受	-10.1																																																																																								
取引⑥		渡	+50	受	-50	渡	+50	受	-50.5																																																																																								
ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+70	受	-70	渡	+240	受	-241.8																																																																																								
6月2日	1回目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>バスケット</th> <th>スタート 決済日</th> <th>スタート 受渡金額</th> <th>エンド 決済日</th> <th>エンド 受渡金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引⑦</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月2日</td> <td>+110</td> <td>6月3日</td> <td>-110.8</td> </tr> <tr> <td>取引⑧</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月2日</td> <td>+20</td> <td>6月5日</td> <td>-20.2</td> </tr> </tbody> </table>	バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額	取引⑦	国債バスケットA	6月2日	+110	6月3日	-110.8	取引⑧	国債バスケットA	6月2日	+20	6月5日	-20.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決済日</th> <th colspan="2">6月1日</th> <th colspan="2">6月2日</th> <th colspan="2">6月3日</th> <th colspan="2">6月4日</th> <th colspan="2">6月5日</th> </tr> <tr> <th></th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> </tr> <tr> <th></th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前日以前の取引に係るUnwind/Rewind/エンドバスケットポジション</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+240</td> <td>受</td> <td>-241.8</td> <td>渡</td> <td>+30</td> <td>受</td> <td>-30.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引⑦</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+110</td> <td>受</td> <td>-110.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引⑧</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20</td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20</td> <td>渡</td> </tr> <tr> <td>ネットティング結果(国債バスケットA)</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+370</td> <td>受</td> <td>-372.6</td> <td>渡</td> <td>+50</td> <td>受</td> <td>-50.3</td> <td>渡</td> </tr> </tbody> </table> <p>申込みによる債務引受け・Unwind/Rewind債務負担 ↓ バスケットネットティング ↓ 銘柄割当て</p> <p>⑦ 370億円相当の銘柄を割当て ⑧ ⑦で割り当てた国債と同一銘柄・同一数量を割り当てる。</p>	決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日		6月5日			エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind		国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	前日以前の取引に係るUnwind/Rewind/エンドバスケットポジション		渡	+240	受	-241.8	渡	+30	受	-30.3		取引⑦		渡	+110	受	-110.8						取引⑧		渡	+20	受	-20	渡	+20	受	-20	渡	ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+370	受	-372.6	渡	+50	受	-50.3	渡
		バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額																																																																																											
		取引⑦	国債バスケットA	6月2日	+110	6月3日	-110.8																																																																																										
取引⑧	国債バスケットA	6月2日	+20	6月5日	-20.2																																																																																												
決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日		6月5日																																																																																								
	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind																																																																																							
	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																																																																							
前日以前の取引に係るUnwind/Rewind/エンドバスケットポジション		渡	+240	受	-241.8	渡	+30	受	-30.3																																																																																								
取引⑦		渡	+110	受	-110.8																																																																																												
取引⑧		渡	+20	受	-20	渡	+20	受	-20	渡																																																																																							
ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+370	受	-372.6	渡	+50	受	-50.3	渡																																																																																							
6月2日	2回目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>バスケット</th> <th>スタート 決済日</th> <th>スタート 受渡金額</th> <th>エンド 決済日</th> <th>エンド 受渡金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引⑨</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月2日</td> <td>+20</td> <td>6月4日</td> <td>-20.1</td> </tr> <tr> <td>取引⑩</td> <td>国債バスケットA</td> <td>6月2日</td> <td>+70</td> <td>6月5日</td> <td>-70.6</td> </tr> </tbody> </table>	バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額	取引⑨	国債バスケットA	6月2日	+20	6月4日	-20.1	取引⑩	国債バスケットA	6月2日	+70	6月5日	-70.6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決済日</th> <th colspan="2">6月1日</th> <th colspan="2">6月2日</th> <th colspan="2">6月3日</th> <th colspan="2">6月4日</th> <th colspan="2">6月5日</th> </tr> <tr> <th></th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> <th>エンド/Unwind</th> <th>スタート/Rewind</th> </tr> <tr> <th></th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> <th>国債</th> <th>資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目の取引に係るUnwind/Rewind/エンドバスケットポジション</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+50</td> <td>受</td> <td>-50.3</td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引⑨</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20</td> <td>渡</td> <td>+20</td> <td>受</td> <td>-20.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引⑩</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+70</td> <td>受</td> <td>-70</td> <td>渡</td> <td>+70</td> <td>受</td> <td>-70</td> <td>渡</td> </tr> <tr> <td>ネットティング結果(国債バスケットA)</td> <td></td> <td>渡</td> <td>+90</td> <td>受</td> <td>-90</td> <td>渡</td> <td>+140</td> <td>受</td> <td>-140.4</td> <td>渡</td> </tr> </tbody> </table> <p>申込みによる債務引受け・Unwind/Rewind債務負担 ↓ バスケットネットティング ↓ 銘柄割当て</p> <p>1回目の銘柄割当てにおける、割当可能残高不足による繰越しがない想定 ⑨ 90億円相当の銘柄を割当て ⑩ ⑨で割り当てた国債と同一銘柄・同一数量を割り当てる。</p>	決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日		6月5日			エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind		国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	1回目の取引に係るUnwind/Rewind/エンドバスケットポジション		渡	+50	受	-50.3	渡	+20	受	-20.2		取引⑨		渡	+20	受	-20	渡	+20	受	-20.1		取引⑩		渡	+70	受	-70	渡	+70	受	-70	渡	ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+90	受	-90	渡	+140	受	-140.4	渡
		バスケット	スタート 決済日	スタート 受渡金額	エンド 決済日	エンド 受渡金額																																																																																											
		取引⑨	国債バスケットA	6月2日	+20	6月4日	-20.1																																																																																										
取引⑩	国債バスケットA	6月2日	+70	6月5日	-70.6																																																																																												
決済日	6月1日		6月2日		6月3日		6月4日		6月5日																																																																																								
	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind	エンド/Unwind	スタート/Rewind																																																																																							
	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																																																																							
1回目の取引に係るUnwind/Rewind/エンドバスケットポジション		渡	+50	受	-50.3	渡	+20	受	-20.2																																																																																								
取引⑨		渡	+20	受	-20	渡	+20	受	-20.1																																																																																								
取引⑩		渡	+70	受	-70	渡	+70	受	-70	渡																																																																																							
ネットティング結果(国債バスケットA)		渡	+90	受	-90	渡	+140	受	-140.4	渡																																																																																							

※6月2日の3回目の銘柄割当てについては記載を省略

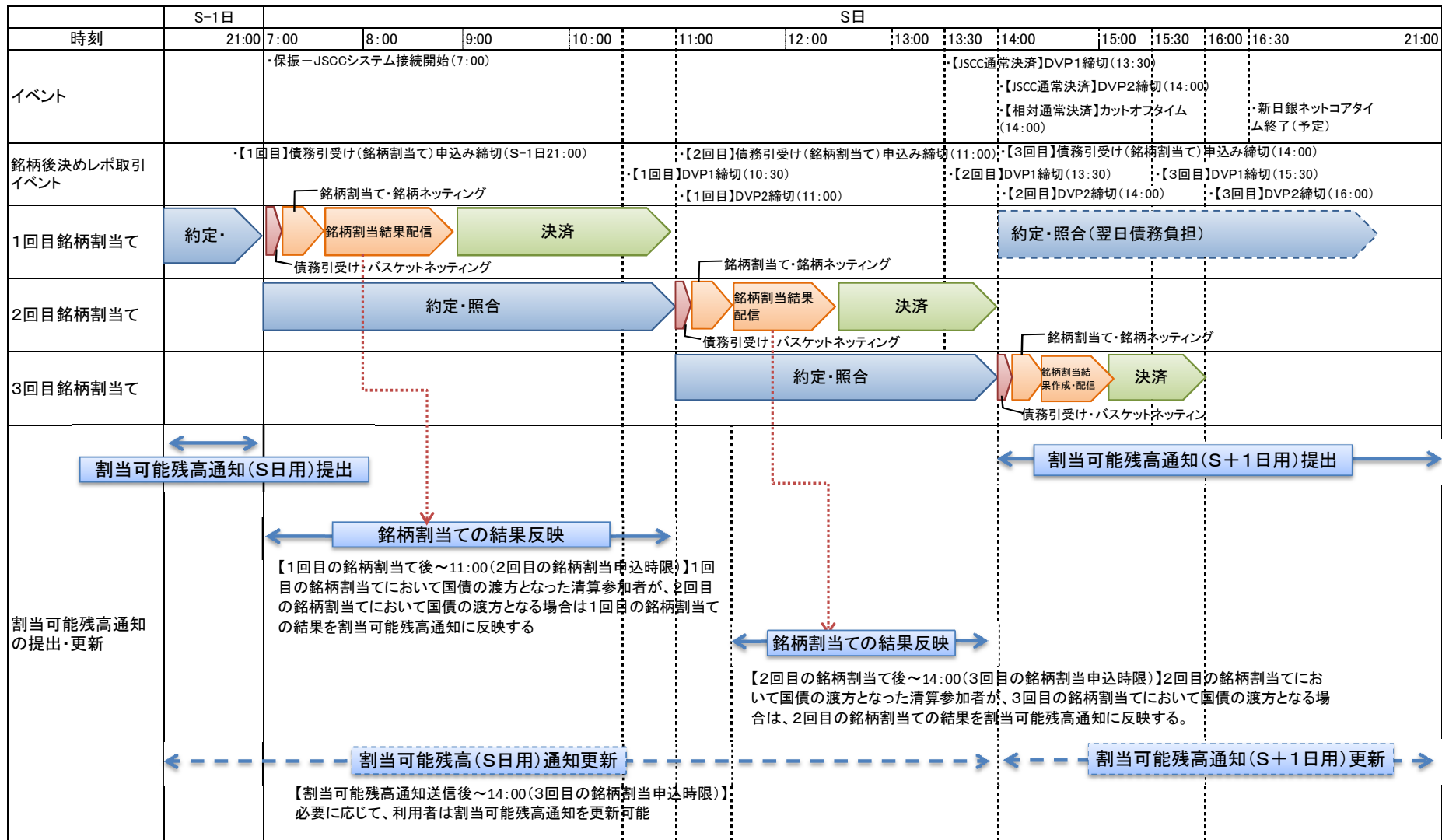
銘柄割当て及び銘柄ネットtingイメージ

単位:億円
資金 +:調達(受領)、-:運用(支払い)

日付	銘柄割当て	スタート/Rewind債務及びエンド/Unwind債務に係る銘柄割当て～銘柄ネットting																																																	
6月1日	1回目	決済日		6月1日				6月2日				6月3日				6月4日																																			
				エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind																																	
				国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																
ネットting結果(国債バスケットA)				渡	+80	受	-80	渡	+80	受	-80.9	受	-20	渡	+20.2																																				
銘柄割当て		<p>① 1回目の申込時限時点において最新の割当可能残高通知及び当日にエンド/Unwind債務の割当国債として受領予定の銘柄及び数量(他のバスケットに係る割当国債を含む。)を利用して、銘柄割当ルールによりスタート/Rewind債務に係る割当国債を決定(⑦参照) ※割当可能数量が不足する場合には2回目に繰越し</p> <p>② ①により割り当てた銘柄及び数量が6月2日のエンド/Unwindの割当国債となる。</p>																																																	
銘柄ネットting		<p>エンド/Unwindで受領する銘柄及びスタート/Rewindの割当国債を銘柄ネットtingする(異なるバスケットの割当国債についても銘柄ネットtingの対象とする。) ※1回目の銘柄割当てにおける銘柄ネットtingの詳細は6月2日の1回目の銘柄ネットtingを参照</p>																																																	
6月1日	2回目	決済日		6月1日				6月2日				6月3日				6月4日																																			
				エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind																																	
				国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																
ネットting結果(国債バスケットA)				渡	+105	受	-105	渡	+180	受	-181.7	受	-20	渡	+20.2																																				
銘柄割当て		<p>③ 2回目の申込時限時点において最新の割当可能残高通知を利用して、銘柄割当ルールによりスタート/Rewind債務に係る割当国債を決定 ※割当可能数量が不足する場合には3回目に繰越し</p> <p>④ ③により割り当てた銘柄及び数量が6月2日のエンド/Unwindの割当国債となる。</p>																																																	
銘柄ネットting		<p>※スタート/Rewindの割当国債について、バスケットにかかわらず銘柄ネットtingを行う。</p>																																																	
6月1日	3回目	決済日		6月1日				6月2日				6月3日				6月4日																																			
				エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind																																	
				国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																																
ネットting結果(国債バスケットA)				渡	+70	受	-70	渡	+240	受	-241.8	受	+30	渡	-30.3																																				
銘柄割当て		<p>⑤ 3回目の申込時限時点において最新の割当可能残高通知を利用して、銘柄割当ルールによりスタート/Rewind債務に係る割当国債を決定 ※割当可能数量が不足する場合には、一定のルールに従い、渡方清算参加者の残高の範囲外の銘柄を割当て</p> <p>⑥ ⑤により割り当てた銘柄及び数量が6月2日のエンド/Unwindの割当国債となる。</p>																																																	
銘柄ネットting		<p>※スタート/Rewindの割当国債について、バスケットにかかわらず銘柄ネットtingを行う。</p>																																																	
6月2日	1回目	決済日		6月1日				6月2日				6月3日				6月4日				6月5日																															
				エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind		エンド/Unwind		スタート/Rewind																													
				国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金	国債	資金																												
ネットting結果(国債バスケットA)				渡	+370	受	-372.6	渡	+50	受	-50.3	渡	+20	受	-20.2																																				
銘柄割当て		<p>6月2日の割当可能残高通知(リスト)</p> <table border="1"> <tr><th>銘柄</th><th>数量(額面)</th></tr> <tr><td>AA回債</td><td>50</td></tr> <tr><td>BB回債</td><td>80</td></tr> <tr><td>CC回債</td><td>50</td></tr> <tr><td>DD回債</td><td>30</td></tr> <tr><td>EE回債</td><td>130</td></tr> <tr><td>GG回債</td><td>50</td></tr> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </table> <p>※FF回債はSレポで利用するため割当可能残高通知から除外した想定。 ※FF回債はなし。 ※当日エンド/Unwindで返戻される銘柄のうち、当日の銘柄後決めレポ取引で利用可能な銘柄は、予定残として1回目の銘柄割当て用リストに記載する。一方で、銘柄後決めレポ取引以外で利用する銘柄はリストに記載しない。</p> <p>国債バスケットAに係る受領予定</p> <table border="1"> <tr><th>銘柄</th><th>数量(額面)</th></tr> <tr><td>AA回債</td><td>50</td></tr> <tr><td>BB回債</td><td>74</td></tr> <tr><td>CC回債</td><td>50</td></tr> <tr><td>DD回債</td><td>30</td></tr> <tr><td>EE回債</td><td>15</td></tr> <tr><td>FF回債</td><td>19</td></tr> </table> <p>国債バスケットA以外のバスケットに係る受領予定</p> <table border="1"> <tr><th>銘柄</th><th>数量(額面)</th></tr> <tr><td>EE回債</td><td>100</td></tr> <tr><td>GG回債</td><td>48</td></tr> </table> <p>⑦ 1回目の申込時限時点の最新の割当可能残高通知及び当日にエンド/Unwind債務の割当国債として受領予定の銘柄及び数量(他のバスケットに係る割当国債を含む。)を利用して、銘柄割当ルールによりスタート/Rewind債務に係る割当国債を決定</p> <p>⑧ ⑦により割り当てた銘柄及び数量が6月3日のエンド/Unwindの割当国債となる。</p>														銘柄	数量(額面)	AA回債	50	BB回債	80	CC回債	50	DD回債	30	EE回債	130	GG回債	50	銘柄	数量(額面)	AA回債	50	BB回債	74	CC回債	50	DD回債	30	EE回債	15	FF回債	19	銘柄	数量(額面)	EE回債	100	GG回債	48
銘柄	数量(額面)																																																		
AA回債	50																																																		
BB回債	80																																																		
CC回債	50																																																		
DD回債	30																																																		
EE回債	130																																																		
GG回債	50																																																		
...	...																																																		
銘柄	数量(額面)																																																		
AA回債	50																																																		
BB回債	74																																																		
CC回債	50																																																		
DD回債	30																																																		
EE回債	15																																																		
FF回債	19																																																		
銘柄	数量(額面)																																																		
EE回債	100																																																		
GG回債	48																																																		
銘柄ネットting		<p>⑦により割り当てた銘柄及び数量が6月3日のエンド/Unwindの割当国債となる。</p> <p>⑧ ⑦により割り当てた銘柄及び数量が6月3日のエンド/Unwindの割当国債となる。</p> <p>⑨ ⑧により割り当てた銘柄及び数量が6月4日のスタート/Rewind(渡し)となる。</p>																																																	
銘柄ネットting結果		<table border="1"> <tr><th>銘柄</th><th>数量(額面)</th><th>授受</th></tr> <tr><td>FF回債</td><td>19</td><td>受領</td></tr> <tr><td>GG回債</td><td>1</td><td>受領</td></tr> </table> <p>※資金については記載を省略</p>														銘柄	数量(額面)	授受	FF回債	19	受領	GG回債	1	受領																											
銘柄	数量(額面)	授受																																																	
FF回債	19	受領																																																	
GG回債	1	受領																																																	

※6月2日の2回目以降の銘柄割当てについては記載を省略

【タイムスケジュール】



※時限については、現在の想定であり、今後変更になる可能性がある。

銘柄後決めレポ取引に係る業務フロー案

